

ひまわり通信

SSKS
No.88



平成三十一年度展望

理事長 隅 一 清

平成二十九年度の事業計画も無事終了して、今年も三十一年度の予算案、事業計画案、助成金申請書類作成と、例年の事ながら連日連夜書類作成に追われています。もつとも、この号が皆様のお手元に届く頃はゴールデンウィークも終り、梅雨の季節になる頃だと思えます。

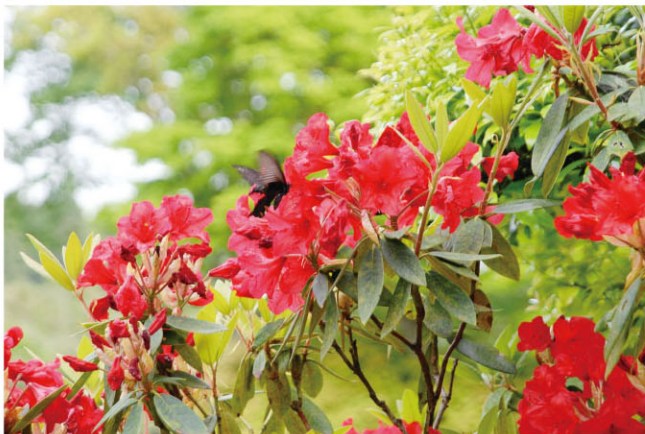
区からの助成金もトリップ数が五千止まりなので、七千・八千トリップがあつても助成金は増えません。車両関係も車両にかける任意保険の数字によつて多少変わるだけなので、ここ数年はまったく変わりません。

車両も会所有車両七台、持込車両四台で連日稼働していますが、ガソリン代、車両代、車両整備費等の経費が嵩み昨年度は百五十万円程の赤字決算となりました。

狭い道路での切り返しを完全にしないで、バンパーや側面を傷ついたり、バック時に後方確認をせず障害物にぶついたり…と、注意すれば防げる物損事故が多く発生しています。これらが一步間違えれば、人身事故にも繋がる恐れがあるので、安全運転、安全走行をドライバーは常に心がけてください。

当会も移送事業を始めて二十四年になるので、昨今は多方面から移送の依頼があります。デイホームや介護施設、ケアマネ等、移送料金や介助等についても問合せがあります。お陰で(?)「そとでる」さん(配車サービスNPO)にはエントリーする事も、ほとんど無くなりまし

他のNP O団体から、そとでるにエントリーしてもほとんど依頼が無く、そとでるは介護タクシーの為に?との



クレームも出ていますが、要は会の立場ではなく、移動出来ずに困っている人の立場で考え朝早くとも、夜遅くとも土日祭日関係なく、配車することを考えて運営すれば、結果は見えてきます。

ドライバーも今では、ボランティアのボの字もありません。生活の為に働いているので、それに見合う移送事業をすれば必然的に数字もついてきます。

福祉有償移送事業も、十年を過ぎました。相も変わらず、三年ごとに国交省やタクシー業界、学識経験者等を集めて審査会を行っています。移送料金にしても、しかるべき理由を挙げて申請してもスムーズには許可されません。

減ることはあつても、絶対に新しく増える事は無いと言つていた、NPO法人が今年新しく出来るとの事です。もつとも個人で立ち上げるのでなく、区内に二、三ヶ所の事業所を持つ介護施設が、移送事業に関して法人格を取得するようです。

最近急に増えた中に、障がい児の放課後デイサービスがあります。あちこちから移送の問合せがあります。会としては、単発の移送より数字がまとまるので有難いですが、送迎の時間が皆一緒なので、配車が出来ません。

なにはともあれ、平成三十年は赤字を出さずに運営出来る様に、ドライバー各自が責任を持って日々の移送業務を遂行して頂く様お願い致します。利用者が安心して、通院・通所・買い物などに、会の移送を利用して頂く事が、ドライバーの皆さんに手数料として還されていくのですから、よろしくお願ひします。

旅

理事 佐藤裕美子

「人生とは旅であり、旅は人生である」と2006年に引退した元サッカー日本代表の中田英寿さんの言葉に出会い、私にとつての旅とは何だろうと考えると、日常生活から離れて身体も心も自由になりリフレッシュの時間をもち、また新しい日常生活へ戻っていくことなのではと思う。

これまでの様々な旅を思い出すと、家族旅行がある。二三年前に一度、実家から全員集合の指示が来てそれから一族揃って温泉へ二泊の宴会旅行が行われているが、これがまた楽しいし待ち遠しいのです。普段、離れて暮らす姉妹や姪たちの家族が集まり女性たちは二年分のたまっていた会話を交わし、料理と温泉を楽しむ。男性はお酒を酌み交わしている。会った瞬間から二年の時間を飛び越え、家族のきずなの再確認のできる家族旅行はこれからもぜひ続けて欲しい旅である。

私はひとり旅も好きでよく出かけている。最近のひとり旅は今年の二月に夜行寝台列車『サンライズ瀬戸』個室の予約が取れ、四国く小豆島く岡山く倉敷と四日間の旅をしてきた。ひとり旅の良いところは行きたいところも時間も自由であるということ。倉敷では六歳年上の友達ができ、彼女が東京に来た時には一緒に舞台を見たり食事をしたりと新しい日常生活が増えました。

気の合う友人たちとの旅(女性限定)も無くてはならない旅のひとつである。女性は姦しいという言葉がありますが、何を見ても、

何をしても、食事の時もわいわいがやがやとうるさいのですが、それが楽しいのです。男性諸君から見ると一日中よく話すことがあると呆れていると思うが女性にとつてはそこを外すことができないのです。ご理解のほどよろしく願います。

ヒューマンハーバーで企画しているひまわりの会での日帰りバスツアー、一泊旅行も私にとつては無くてはならない旅のひとつになっている。日帰りバスツアーは、いつも参加しているメンバーに会う楽しみと「今日はどこへ行くのだろうか？」というミステリーツアーの楽しみがある。単に自分がどこへ行くのか覚え、理解せずに参加しているだけですが、皆さんこんな楽しみ方もあるのです。お勧めします。泊まりがけ旅行でどこへ泊った時は忘れてしまったが、満天の星空をホテルの庭に出てみんなで見上げて、子供時代を思い出して星座の話に盛り上がり、まさに星が降るような夜を体験できて、旅の幸せを堪能した瞬間でした。

中田英寿氏の言葉を改めて考えると「人生とは旅であり、旅は人生である」は、とても深い言葉だと思う。旅は「時間」と「お金」に制限がある。人生だつて「時間」と「お金」に制限がある。お金と時間をうまく使い人生を楽しむために、旅上手になりたいと思う。旅上手は人生上手を目指しこれからも旅を楽しみたい。ヒューマンハーバーでの旅の企画、これからもよろしく願います。ミステリーツアー楽しんでいきます。



ひまわり句会

菅野孝夫 選

風光る大仏様の御目かな
弟の眠る丘より春霞かすみ
観音の右近の桜ほころびぬ
桜散る地藏菩薩のよだれかけ

亀井歌子

宮澤みどり

鼻先をかすめて桜吹雪かな
せせらぎと小鳥のこゑと花筏
花の昼就活女子の黒かばん
客去にし座布団重ね春の宵

大谷のり子

春風のトンネル抜けて銭洗
初めての電子書籍や春炬燵
教会の猫の日だまりクロッカス
植木市天神さまへ繞く道
外国人立礼席に花の昼
チューリップ大小ありて仮校舎

小田原郁代

天平の美女とおぼしき雛かな
日だまりや紅白の梅ふくらみて
回転鮎進級試験終了日
朝日差す小さな庭や芝桜
花散らす多摩川台の朝の風

行事報告

◎房総マザー牧場

三月十八日(日)

東京から近くて、鹿野山の中腹に広がる広大な牧草地帯に、羊やアヒルや豚等の動物に触れ合える所として、古くから子供たちに親しまれているマザー牧場は、春は菜の花、夏はサルビア、秋はコスモスといった花で、斜面を彩り大人も楽しめる処です。

昔はジンギスカンのバーベキューだけの食事処で、若い人にはボリウムがあつて喜ばれていましたが、我々の年代になると？チョット重い感じですよ。

しかし昨今、新しい食事処として和食のコーナーが出来ました。下見に行くと、季節柄、菜の花御膳とかで、菜の花づくしのヘルシーな食事でも好評だったので、久しぶりに訪ねました。

下見の時は大雨の後で、菜の花はダメでしたが、一番は天気にも恵まれ、広大な斜面は黄色のじゅうたんを広げた様でした。日曜日とあつて、子供連れの家族であちこちあふれかえっていました。

羊の毛刈りショーは、最大のイベントで、丸々太った羊がアツという

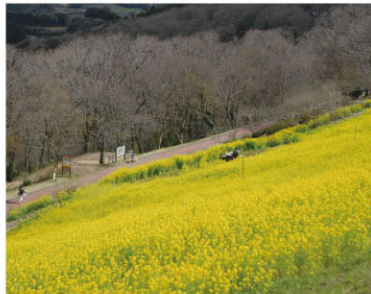


間に毛を刈られてしまいます。各国の羊も展示されていて、その背中には牧場犬乗っています。ショーを見た後は各自、山の下の出口の方に園内バスで移動したり、菜の花ロードを愉しんだりして移動しました。午後になると陽もかげつて風も出てきたので寒くなり、早めにバスの中に入ってしまうグループもいました。

お茶を飲むにも、売店でお土産を買おうにも長蛇の列で大変でした。

この近辺には道の駅が無いので、君津ICのそばの『四季の蔵』という、日帰り温泉や農産物、海産物などを売っている処で買物をして帰路につきましたが、渋滞に巻き込まれて海ホタルまでノロノロで、やっと到着。あとはスムーズでした。

参加者二十六名



◎霞ヶ浦予科練 平和記念館を訪ねて...

四月二十二日(日)

四月の中旬と云うのに、連日二十五度を越える暑さとかで、この日も快晴で初夏の陽気でした。

三郷から常磐道に入り、守谷SAで休憩して、つくばJCから圏央道に入り、牛久大仏を右手に見て阿見東ICで下車し、阿見アウトレットに到着。

イタリアンレストランで昼食を頂きました。サラダからピザ、スバゲッティ、肉料理などを堪能してから、記念公園に向いました。

若い少年たちが訓練されて、特攻隊としてここ霞ヶ浦飛行場から飛び立っていった数が三千人と聞かされ、驚きを新たにしました。ゼロ戦や人間魚雷艇なども展示されていました。

今回は総合公園でチューリップを見る予定でしたが、連日の暑さで今年は十日以上早く咲いたとかで、花は断念して新しく出来た神崎の道の駅に行く事にしました。

早くも田植えが始まった田んぼを見ながら道の駅へ到着。新鮮な野菜や、発酵食品を買って帰路につきました。好天とあつて高速道路はどこも渋滞していませんが、意外と早く野沢に帰り着きました。

参加者三十二名



行事予定

第12回通常総会

法人格取得(通算22回)

於 総合福祉センター(サクラサポート)

今年も総会の時期がやってきました。例年使っている会場の『がやがや館』が、今年六月の土日が市民大学の会場となるので、使用できないとの事で、変更になります。総会は会にとって一年間の行事や予算等を定める重要な会合です。また、会員相互の親睦を深める場でもあるので、ぜひ参加して自分達の為に必要な移送サービス事業や社会参加事業等について、皆様のご意見を聞かせて下さい。

今回の会場は、レストラン等の懇親会を開ける会場がないので、総会会場を利用して行います。豪華、今半の懐石弁当をオーダーしてありますので楽しみにして下さい。

記

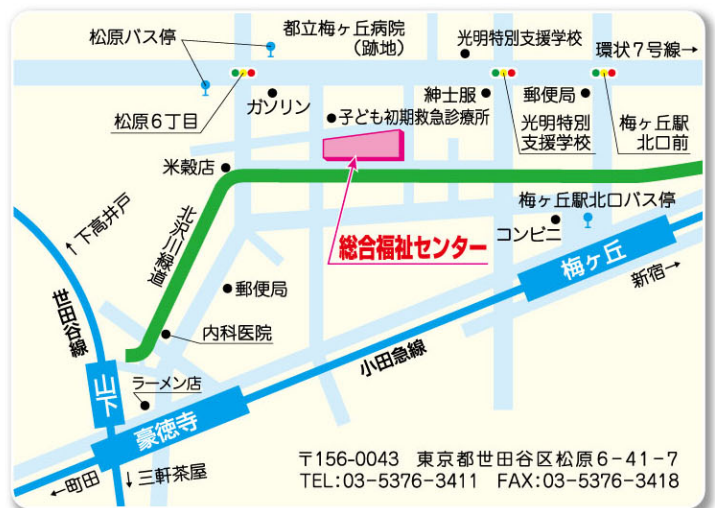
◆日時 六月二十四日(日) 10時30分～15時

◆会場 梅ヶ丘総合福祉センター
(通称 サクラサポート)

◆議事 平成二十九年 事業報告
 平成二十九年 会計報告
 平成二十九年 移送事業報告
 平成三十年 事業計画
 平成三十年 予算案
 役員改選
 その他

◆懇親会 会場のレイアウトを変更して同じ場所で行います。

懇親会のみのお席でも良いです。会費無料です。



昨年度総会懇親会の写真です

*総会会場、懇親会会場準備のお願い
 当日の受付、会場設営等、お手伝い頂ける方は九時三〇分までに起こして下さい。
 *会費、運営協力金、移送料などのお支払いも当日会場でお受け致しますので、ぜひお出かけ下さい。
 *同封のハガキで六月十日までにご連絡下さい。欠席の方は委任状をお願いします。

編集後記

最近の日帰りバスハイクは、栄楽観光さんが大型バスを出してくれるのですが、後部座席がサロン型式になっています。

この席に座るメンバーもいつも同じ顔ぶれです。いつも後部座席の角に座るK先生以外は、ほとんどが飲んべーです！

高速に入るとすぐにビールや日本酒で宴会が始まります。先日、霞ヶ浦に行った時に實井さんのメンバーの三谷君がサロンに座っていた会員の似顔絵を描いてくれました。

特徴をつかんで、瞬く間に女性三人、男性四人の7人の侍？ならず、七人の顔を仕上げてくださいました。みどり色のサインペン一本で、まずメガネからとか、鼻からとか…。私も描いてもらったので、皆さんに見て頂こうと掲載しました。

S記



「ひまわり通信」88号

2018年5月14日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷
 隅 一 清

住所 世田谷区野沢3-4-18-102

FAX 03-3487-5081

T 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会
 世田谷区砵6-26-21 (定価100円)